

専攻	教員名	専門分野	過去の活動実績等	教員コメント
国際政治経済専攻	教授 谷口 美代子	平和構築/国際政治/国際関係/比較政治/ 東南アジア地域研究 ・国家建設・平和構築 ・国際秩序と国内秩序の共振性 ・ポスト冷戦期の日本の平和外交	●前職独立行政法人国際協力機構 事業事後評価 外部アドバイザー等	国際情勢、特に武力紛争と平和構築に関連する研究を実施しています。国際問題に対する関心に国際政治学・国際関係論の視点から知見を共有できるかと思います。
	准教授 倉 真一	社会学/国際社会学/社会調査論 ・国際移民研究 ・国際移民とナショナリズム ・グローバル化と地域社会	●宮崎市都市計画審議会委員等 ●宮崎市国民健康保険運営協議会会長等 ●外国人や宮崎についての講座の開催 -移民に投影される強いネーションへの願望 -地域の視聴覚メディア資料(フィルムや絵本書等)の保存と活用	「社会について調べたい」社会調査という営みは、その入門前後の「一歩前」にこそ高いハードルがあります。そんなハードルを越えたい意思があれば、少しはお役に立てるかと思います。
	准教授 田村 恵理子	国際法(とくに国際人道法) ・人道法と人権法の関係 ・人権義務の性質 ・共同体利益 ・災害時の人権保障	●宮崎県環境審議会委員等 ●国際関係に関する講座の開催 -パリ協定の可能性と課題 -国際法を含む国際関係の諸問題	日本の時事的な事柄にも国際法がほとんど関係しますので、どんなトピックについても、アイデアや問題点、解決すべき課題などをお示しできます。ぜひ、お声がけください。
	准教授 下村 太一	政治学/日本政治論/日本政治史 ・戦後日本における国土開発と利益政治の研究 ・自民党政権の歴史的研究 ・地域から見た戦後政治史の研究	●宮崎市指定管理者候補者選定委員会委員等 ●日本政治に関する講座の開催 -戦後政治と田中角栄 -コロナ禍と日本政治 -ジェンダーの視点から見る日本の政治	専門は戦後日本政治史です。これまで、高度成長期の日本政治、特に田中角栄のリーダーシップに焦点を当てて研究を行ってきました。現在は、1970年代以降の日本政治の変容や、地域から見た政治史にも関心を持っています。
	准教授 稲田 光朗	国際貿易/開発経済/中国経済/ 応用計量経済 ・海外直接投資誘致政策の受入国及び出身経済に与える影響 ・途上国経済発展に関わる定量的研究	●国際経済に関する講座の開催 -グローバル経済と脅威との両立をどのように図るか？米中経済デカップリングと、その日本経済に与える影響 -宮崎の貿易パートナーを検証する 一産業内貿易の観点から―	国際貿易投資・国際的な人の移動にかかわる理論分析・統計分析について経済学の観点から講演します。中国・台湾経済の現状分析・米中新冷戦にかかわる問題についても講演します。
	准教授 清水 習	政治経済学/政策学/イデオロギー論 ・新自由主義論 ・現代日本政治経済 ・政策と政治と社会	●宮崎市総合計画推進会議専門部会委員等 ●世界事情や経済に関する講座の開催 -新自由主義とは何か？ -コロナ禍とコロナ後の世界経済を理解する講座	政治思想や経済思想など、哲学的な観点を応用することで、複雑に入り組んだ世界情勢と現代社会の在り方をわかりやすく解説します。若手社員向けのリカレント教育や研修セミナーなども受け付けています。

特任教員	教員名	専門分野	過去の活動実績等	教員コメント
	特任教授 元丸 貴之	地方自治制度/公務員制度/行政法/ 法制執務/行政の効率化 ・自治体職員の法務能力の向上 ・わかりやすくミスの少ない法制執務 ・議員立法による議会の活性化	●公務員・議員を対象とした講座等の開催 -法制執務セミナー -地方自治法セミナー -不祥事防止・コンプライアンス研修 ●公務員志望者を対象とした行政法、民法、刑事政策、法学入門など	公務員の宿命として、仕事の根拠は法律です(法律による行政の原理)。マニュアル頼りの仕事は耐震補強されていない建物のようなもの。もろく説得力に乏しい。公務員の皆様、やさしく法律を学び、仕事の耐震化をしませんか？
	特任教授 西村 勇	経営/マーケティング/地方創生/メディア/ 有機化学 ・データサイエンス ・マーケティング ・リカレント ・マネジメント ・リスクリング	●宮崎市「宮崎市内出身者(若者)の就職先として本市が選ばれるための調査」 ●宮崎県中央区企業立地推進協議会「宮崎央地区企業ヒアリング調査」 ●ビジネスプランコンテスト審査員等 ●宮崎市地域のにぎわい創出支援事業選考委員	地域経済を支える中小企業にはさまざまな課題があります。DX・脱炭素への対応をはじめ、人材確保から人材育成までの人的投資も求められる社会となって参りました。課題解決に「知の拠点」である大学をご活用ください。
	特任准教授 新村 拓也	インターンシップ/課題解決実践/地域連携/ 地域統合型学習 ・実践型インターンシップ	●高等学校探究活動に関する伴走支援 ●宮崎市市民活動推進委員会等 ●インターンシップに関する講演やファシリテータ等 -採用広報だけでなく、学生と共に成長するためのインターンシップセミナー	本学卒業後、民間企業、県内大学を経て現在本学におり、NPOにも所属しております。それら様々な立場で経験したことから、多様な主体それぞれが良い効果を得られる連携方法を一緒に考え、実践してまいります。
	特任准教授 原田 真理	日本語教育 ・日本語支援 ・教育行政 ・地域日本語教育 ・多言語教育 ・社会教育	●日本語教育や日本語に関する講座の開催 -JLPT直前対策講座 -日本語プロジェクトワーク講座 -Survival Japanese in 21 Patterns ●宮崎県地域日本語教育体制整備事業 総合調整会議構成員	日本語学習者の方が、限られた語彙数でも自主的に活動できるような、ワクワクする授業を目指しています。学習者の自己実現のため、交流の場が学校や地域にもっと広がっていければと考えています。

教職	教員名	専門分野	過去の活動実績等	教員コメント
	客員教授 曾我 文敏	教育学 ・学校経営 ・道德教育 ・生徒指導	●道德教育、生徒指導に関する研修支援 -道德教育、生徒指導に係る研修 -学校教育に係る問題及び課題への支援 ●学校支援ボランティア活動	本学が掲げる「地域貢献」の理念を基に、学内だけではなく、教育関係機関(団体)等の皆様と連携しながら、講義・講演活動等も行い、広く地域貢献に努めていきたいと思っています。
	グローバル人材養成 プログラム講師 中村 勝志	TESOL(英語教授法) ・第二言語を習得するには ・学習者の自律性を育てるには	●英語に関する講座の開催 -小学3・4年生向け英語教室	「意志あるところに道は開ける」という言葉が示す通り、強い意志と継続的な努力があれば、必ず第二言語を習得できます。新たな言語は新たな世界への入り口を提供してくれます。

宮崎公立大学に所属している教員のことをさらに詳しく知りたい場合は、
公式ウェブサイトに掲載されている情報をご覧ください。

公式ウェブサイト▶<https://www.miyazaki-mu.ac.jp/departament/faculty/>



宮崎公立大学の教員による

地域貢献活動

本学では、「リベラル・アーツ教育」の理念に基づき、多彩で幅広い専門分野に関する知識や教育研究の成果を有しています。これらの知的資源を生かし、団体や行政・企業等と連携しながら、地域のニーズに応えるさまざまな地域貢献活動を行っています。

本学の教員と連携した取組や派遣等についてご検討いただく場合には、こちらの地域貢献活動パンフレットをご活用ください！

本件お問合せ先

旧 地域研究センター

宮崎公立大学 地域連携・防災研究センター

TEL：0985-20-4772 FAX：0985-20-4773

E-mail：mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp



《 令和7年度版 》

宮崎公立大学所属教員の地域貢献活動実績等

専攻	教員名	専門分野	過去の活動実績等	教員コメント
言語・文化専攻	教授 大賀 郁夫	歴史学(日本近世史) ・近世地域史研究 ・犯罪史 ・社会的権力	●宮崎市史編集委員 ●延岡市史編集委員 ●歴史に関する講座の開催 -よみがえる江戸時代の宮崎(宮崎の歴史全般)	江戸時代の宮崎を対象に、支配のあり方やその時代に生きた人々の生活環境や価値観等について研究しています。史料は過去からのメッセージです。史料を通して過去に問いかけ、過去と「対話」してみましょう。
	教授 福田 稔	理論言語学/英語学/統語 ・チョムスキーの言語理論による日英語の構造分析 ・純粋な派生理論の構築 ・日英語の日常的な表現の理論分析	●公益財団法人 宮崎県芸術文化協会評議員 ●英語に関する講座の開催 -インターネットと辞書で学ぶ英単語の使い分け -英語教科書コーパスからわかること -中学1年生の単語で学ぶ英語の仕組み	英語や日本語の仕組みを解き明かしながら、学術研究の面白さが伝えられるような授業や講義ができればと思っています。英語教育における語彙学習、辞書引き学習、学術研究との橋渡しなどに関心があります。
	教授 田宮 昌子	中国文化論/中国語 ・中国文化史上の「悲憤慷慨の系譜」(楚辞伝承を中心に) ・日本の言語・思想・文化が中国のそれらと持ってきた関係	●宮崎県教科用図書選定審議会委員等 ●中国の言語・文化に関する講座の開催 -中国語という言語について -現代中国現象の歴史的文化的淵源について -日中文化交流史 -日中関係史	「東アジア」という地域アイデンティティの形成は、この地域の今日の膠着を打ち破り、共生と繁栄の未来を切り開く鍵と考えます。本学の教育プログラムはこの課題を担い得る人材の育成を目指すものです。
	教授 李 善愛	東アジア地域研究/海洋人類学 ・環境(生態・自然、社会、歴史、文化)と人間とのかかわり	●宮崎県立図書館資料推薦委員等 ●韓国語に関する講座の開催 -語学講座(韓国語中級)	日韓両地域における女性たちの海のベントス資源利用をめぐる環境変化や生活戦略について関心があります。
	教授 スコット ビンガム	第二言語習得/異文化間コミュニケーション ・MMUにおける英語プログラムの開発、実施、評価	●英語暗唱大会審査委員等 ●英語や英語教育に関する講座の開催 -小学5、6年生向け英語教室 -英語などの指導方法 -語学講座(英語中級) -TOEICのスコアを挙げる秘訣	私の唯一の目標は、生徒さんが英語でのコミュニケーション能力を向上させることです。生徒のニーズと個々の能力に焦点を当てることで、生徒が成功するために必要な学習戦略を生徒に教えることにも焦点を当てています。
	教授 松本 祐子	英語教育学 ・学習者の母語を活用した効果的な英語指導 ・言語技術 ・ことばの習得	●公民館講座・教員研修講座 ●英語教育や英語に関する講座の開催 -語学講座(英語上級) -中高生のための使える英語 -私たちを取り巻くことばとこれからの言語 教育	日本語でも英語でも、「ことば」を学ぶことで、自分の考え方や世界の見え方が大きく変化します。英語に苦手意識を持っている方にこそ、楽しんでもらえるような学びの機会を作っていききたいと思っています。
	教授 カタリーナ モーク	内容言語統合型学習/第二言語習得/ 異文化間コミュニケーション・コンピュータ支援外国語学習システム ・効果的なCLIL手法 ・CLILの教師教育	●公開可能なSLAビデオコンテンツの作成 ●スピーチコンテスト審査 ●高校モデル授業 -ステレオタイプのない異文化交流 ●オンライン講義 -マイクロアグレッションの回避	私の英語クラスの多くは、学生がより自律的な言語学習者になるための学習ストラテジーを教えている。外国語でのコミュニケーション能力は、熱心な練習から生まれますので、毎日英語を使う機会を探しましょう。
	教授 ネイサン ダッカー	異文化間コミュニケーション/リスニング/ プレゼンテーション/ビジネス英語 ・日本と西洋の文化的差異がどのように英語でのコミュニケーションを妨げるか	●英語暗唱大会審査委員等 ●留学や英語教育に関する講座の開催 -学生の留学体験談 -英語などの指導方法	世界はあなたの教室であり、体験を待つ冒険で溢れています。勉強を終えたら、荷物をまとめて、物ではなく思い出を集めましょう。英語で旅をすると、視野が広がり、一生大切にしたい物語で人生が満たされます。
	准教授 宮内 なぎさ	英語教育学 ・自己効力感と英語スピーキングの関連性 ・英語学習動機	●宮崎県立高等学校評議員 ●各地の高等学校への出前授業 ●英検(実用英語技能検定)面接委員	熊本県の県立高等学校教諭として30年間の英語指導実践経験有り。特に教職志望の皆さんに、自分の経験を踏まえて多面からサポートさせていただきたいと思っています。
	准教授 楠田 剛士	日本近現代文学 ・原爆体験と文学表象 ・戦後日本の文学・文化運動	●『宮崎 文学の旅』(下巻)共編著 ●宮崎市福祉有償運送協議会委員等 ●宮崎と文学・映画に関する講座の開催 -新川帆立『元彼の遺言状』 -遠藤周作『無鹿』 -平野啓一郎『ある男』	日本近代文学の代表的な作家や作品を取り上げて、読みどころを解説します。また宮崎を舞台とする文学作品や、宮崎にゆかりのある作家の作品の読解を通して、地域と文化の関わりを考えます。
	准教授 八重樫 徹	哲学/倫理学 ・初期現象学における倫理学 ・価値論 -社会哲学	●哲学・倫理学に関する講座の開催 -ヘイトスピーチの悪さをどう説明するか	感情、価値、差別などに関わることを考えています。哲学の面白さをわかりやすく、より多くの人に伝えたいと思っています。
	准教授 寺町 晋哉	教師教育学/教育社会学 ・ジェンダーと教育 ・教師	●宮崎市社会教育委員等 ●教育社会学に関する講座の開催 -ジェンダーに関する講座	学校へ通っていると様々な「もの/こと」が「性別」で分けられています。それは「単なる区別」に思えますが、実は「単なる区別」を飛び越え、「性別」が私たちの学校生活へ影響を及ぼしています。
	准教授 村上 幸太郎	英米文学 ・19世紀イギリスの小説家、チャールズ・ディケンズの初期作品の研究	●宮崎県立南高等学校学校運営協議会委員 ●英語や英米文学に関する講座の開催 -児童文学で学ぶイギリス文化 -現代演劇・パフォーマンス入門講座	英語で書かれた文学作品を原書で読み、当時の歴史・文化や、文学ならではの表現技法について理解を深めていただける機会をできるだけ多く持ちたいと考えております。
	准教授 リチャーズポール	第二言語習得/第二外国語指導法/英語学 ・シミュレーション・ゲームによる外国語学習 ・英語教員養成	●言語学・第二言語習得に関する講座の開催 -言語学って何？分かるけど説明できない日本語 ●英語教育や英語に関する講座の開催 -教える仕事は学が仕事	言葉とは何か、人間はどうやって言葉を学ぶのか、外国語の効率的な学習法・指導法はどういうものなのかといった研究に取り組んでいます。是非、言葉に興味がありましたら、わかりやすく、楽しい講座を提供したいと思っています。
	准教授 茶園 梨加	地域文化 ・北部九州における戦後文化運動 ・炭鉱の開き書きや記録文学、版画運動 ・土呂久鉱山の歴史と文化表現 ・文芸同人誌の活動	●宮日出版文化賞選考委員 ●えびの市男女共同参画推進審議会委員 ●北九州市文化財保護審議会委員 ●中間市文化財専門委員	九州や宮崎における人びとの表現活動について関心を持っています。文芸同人誌や芸術活動などについて、地域社会や時代背景との関わりを通して考えます。

ご依頼内容別 窓口のご案内		■ 大学との連携・共同研究等に関すること	〉 地域連携・防災研究センター	0985-20-4772	mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp
		■ 出前講座(高等学校等)や探究活動への教員派遣	〉 入試広報係	0985-20-2212	nyushi@miyazaki-mu.ac.jp
		■ 講演や委員等への就任依頼等(山下・新村)	〉 地域連携・防災研究センター	0985-20-4772	mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp
		(山下・新村以外)	〉 企画総務係	0985-20-2000	soumuka@miyazaki-mu.ac.jp

専攻	教員名	専門分野	過去の活動実績等	教員コメント
メディア・コミュニケーション専攻	学長(教授) 辻 利則	システム工学/災害情報/地域政策 ・ICTを活用した地域活動に関する研究	●宮崎市障がい者施策推進協議会会長等 ●地域の防災や見守り、防災教育に関する支援 -情報システムを用いた地域の見守り活動、防災教育の支援	地域で高齢者の見守りのできるシステムを独自に開発し、地域の方に使ってもらっています。誰もがスマートフォンを持つ時代、もっと簡単に普段の生活の中で安全に安心して活用できる社会を目指します。
	副学長(教授) 四方 由美	メディアとジェンダー ・犯罪報道におけるジェンダー問題 ・ジェンダーの視点からのメディア・リテラシー(ケアのジャーナリズム)	●宮崎市男女共同参画社会づくり審議会 ●宮崎県行政改革懇談会委員等 ●ひとり親家庭等の学習活動の支援 ●ジェンダー、マ・コミュニケーションについての講座 -社会人のためのジェンダー論講座	ジェンダーとメディアの視点から現代社会の課題をとらえ、解決のための研究や活動を行っています。「誰もが生きやすい社会」の在り方を模索します。
	教授 川瀬 隆千	社会心理学/コミュニティ心理学 ・大学生のキャリア形成支援に関する研究 ・ストレスとソーシャルサポートに関する研究	●宮崎県公共事業評価委員会委員等 ●社会心理学に関する講座の開催 -高校生のための社会心理学 -ストレスと上手に付き合う心理学 -地元への愛着を育てる～社会心理学からのアプローチ～	ストレス対処の方法など身近な問題に社会心理学の観点からアプローチしています。わかったようではない私たちの心の仕組みについて、できるだけわかりやすく解説します。
	教授 森部 陽一郎	情報デザイン/品質管理/情報工学 ・情報伝達における利用品質に関する研究	●宮崎県最低賃金審議会 ●宮崎県個人情報保護審議会等 ●ユニバーサルデザインに関する講座の開催 -スムーズな伝達と『情報デザイン』の重要性 -情報デザインの未来展望	ビクトグラムなどの非言語情報伝達手段を中心に、増加する外国人労働者やさまざまな地域の諸問題への解決に寄与できたら幸いです。
	教授 森津 千尋	広告文化論/メディア文化論 ・地域社会とメディア ・スポーツ文化とメディア	●指定管理者候補者選定委員会等 ●メディアやスポーツを通した地域活性化に関する講座の開催 -新婚旅行の誕生と大衆化 -スポーツと広告 -企業が支えるスポーツイベント ～メディアとスポンサーシップ～	メディアを通じて形成される地域文化や、そこで新たに生み出される地域アイデンティティの在り方について考えていきます。
	教授 野崎 秀正	教育心理学 ・学習場面における協同活動に関する研究 ・子育て場面における援助要請に関する研究	●宮崎市青少年プラザ運営委員会委員等 ●学校教育や社会教育に関する講座の開催 ●学校における教育活動支援 -教育活動推進に関する研修、助言 ●子育てに関する活動支援 -「子育て支援セミナー」の開催	教育場面における心理学のアプローチによる学習理論を中心に研究を進めています。また、子育て支援や保育に関する研究にも携わっており、教育に関する幅広い活動を支援していきたいと思っています。
	教授 梅津 顕一郎	情報社会学/コミュニケーション論/ メディア文化論/若者論 ・サブカルチャーと社会意識	●宮崎県後期高齢者医療広域連合情報公開審査会委員 ●ひむかかるとにに関する活動支援や講座 -ひむかかると競技大会の支援、啓発 -ひむかかるとプロジェクトと地域イメージ	宮崎をより魅力的な地域とするためには、2020年代に相応しい、新しい視点が必要です。これまでの中央集権的な視点では見えなかった地域住民の内発的な視点や、地域同士の関係に浮かびあがる「地域らしさ」を考えています。
	准教授 高塚 佳代子	情報, プロセスシステム ・定量評価が困難なリスクのリスク管理(プロジェクトの遅延リスク管理など) ・AI化し難いプロセスのAI化(順位異常検出など)	●宮崎市社会福祉法人設立審査会・宮崎市社会福祉施設整備施設設置準備審査会委員 ●宮崎市バリアフリー検討会委員 ●宮崎地域インターネット協議会(MAIS)運営委員会委員	地域課題にデジタル変革(DX)をもたらし、福祉や災害対策を実装する取り組みに興味があります。解決の鍵はどこにあるのか、学生や地域の皆さまと共に考えていきたいと思っています。
	准教授 日高 義浩	産業教育/教育工学/情報科学 ・ICT教育 ・情報科学	●ものづくりマイスター(厚生労働省) ●国家技能検定検定委員(電子機器組立職種) ●宮崎市個人情報保護審査会委員 ●宮崎市情報公開審査委員	メタバース空間の教育的利用、地域創生としてのメタバース空間の利用などにも取り組み始めました。ICTを活用した教育、IoTを活用したものづくりなど対応可能です。よろしくお願いします。
	准教授 山下 裕亮	観測地震学/地震・津波防災 ・日向灘における地震学的研究 ・地震・火山活動のモニタリング ・地震・津波に関する地域防災、学校防災教育 ・南海トラフ地震臨時情報	●宮崎県防災会議地震専門部会 専門委員 ●宮崎県博物館協議会 委員(地質) ●宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校『創造的教育方法実践プログラム』コンソーシアムメンバー ●南海トラフ地震臨時情報に関する研修(自治体向け、一般向け)	宮崎の皆さんに地震・津波に関する基礎知識を正しく理解し、正しく備えてもらい、1人でも多くの命を救うことを目指しています。地域の防災に関する課題や学校防災教育にも、一緒に考えながら楽しく取り組んで行きたいと考えています。
	講師 金子 龍司	歴史学 ・近現代日本における娯楽とその統制 ・メディアとしての投書	●宮崎市史編さん専門委員(近現代部会) ●近現代史から学ぶ宮崎市のあゆみ事業に係る外部検討委員会委員 ●『写真アルバム宮崎市の100年』(樹林舎)コラムおよび写真キャプション執筆	講座開催、自治体史編さんなど、地域史の現場にビジュアル史料やオーディオ史料を持ち込み、歴史を五感で感じていただけるような活動を目指しています。
	講師 田川 要	運動生理学/循環生理学 ・血圧・臓器障害の観点から、心血管疾患発症予防に資する安全な筋力運動の探索 ・過剰な塩分摂取や肥満が大動脈血圧および臓器障害に及ぼす影響 等	●Frontiers in Physiology, Editorial Board Member ●若年者を対象にした筋力運動教室の開催 ●中高齢者を対象にした運動教室や血管年齢測定会の開催 ●肥満者を対象にした運動教室や食習慣改善教室の開催	心血管疾患は世界の死因第1位です。全国と比較して宮崎県は、心血管疾患を原因とした死亡率が上位であり、深刻な社会問題です。講演や運動教室を通じて、宮崎県民の健康寿命延伸に貢献したいと考えています。
	講師 ラムマサ ウジヤニ アミン ハリス	データサイエンス/情報/統計 ・機械学習アプローチを活用した地域ブランド商品のマーケティング戦略策定	●宮崎市消防署との共同研究プロジェクト	データサイエンスは現代社会の様々な分野で重要な役割を果たしており、その応用範囲は日々広がっています。地域の企業や自治体と連携し、データ解析を通じた業務改善や政策提言を行い、課題解決に取り組みます。